

## 御寢室

### 概要

皇太子殿下（後の大正天皇）が1911年8月に滞在し、続いて摂政宮殿下（後の昭和天皇）が行啓の際に1922年7月に滞在しました。1989年10月、当時の天皇と皇后両陛下も、この地域を巡る行啓の際にここでご休憩されています。

### 床

床は絨毯敷きで、壁際は長方形の寄木張りになっています。

### 壁面

貴賓室の壁や天井は紙貼り仕上げで飾られています。4種類の外国籍の壁紙にはアールヌーヴォー調の植物の模様が印刷されています。御寢室・御座所には、そのうち3種類の壁紙が使用されます。

### ベッド

このアメリカ製のセミダブルベッドは、当時高級品であった真鍮のパイプ製が特徴です。1911年の行啓時のために和寝具が備え付けられていました。

### 化粧箆笥

下台は引き出しで、上に鏡がついています。

### 暖炉・マントルピース

御座所と同様に、暖炉の床に緑と茶色のタイルがありますが、タイルの彫刻と花は異なります。鏡とマントルピースのデザインも御座所とは異なります。